

E-2 牛の乳腺組織のビタミン B₁ の附燐について

(第3報)

奈良学芸大学 田附 きつ

第1, 2報に於いて牛の乳腺組織にビタミン B₁ 及び Cocarboxylase を組織 1g に就き 2r 負荷し, その附燐及び水解を観た。

今回は更にビタミン B₁ 及び Cocarboxylase の量を増加し, 組織 1g に就き 4r 負荷し, 前回同様 pH 4.5 6.8, 或は生理的食塩水内で更に他方に於いては, 磨砕後及び 38°C 3時間保持後の附燐及び水解を観察し, 前回の結果と比較した。同時に低濃度 B₁ 乳分泌母体の乳腺に, 又上膊皮下に Cocarboxylase を 2, 5mg を注射し, 10, 25, 40 分, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 時間から 5 日間に亙る乳汁への移行を観察し, B₁ 塩酸塩のそれと比較検討した。その成績に就いて述べたい。